

④ツヅミを右へ回すと明るくなり、左へ回すと暗くなります。ツヅミを右へ回しきったところが最大出力です。

●ご使用上の注意とお願い

- ① <FLコントルクス> は0～35℃の室内でご使用ください。35℃をこえてご使用になりますと故障や寿命が短くなる原因となります。
また、蛍光ランプを15℃以下でご使用になりますと、ランプがチラツクことがあります。
- ② ツヅミを最小出力位置よりさらに左へ回したり、最大出力位置よりさらに右へ回したりしますと、故障のようになりますので、おやめください。
- ③ 蛍光ランプが不点灯になったり、はずれていたりしますと正常な調光ができなくなり、さらには過大電流が流れて<FLコントルクス>を破損することがあります。不点灯のランプはすぐ取り替えてください。
- ④ もし音響装置（ラジオ、テレビなど）に雑音障害を与える場合は音響装置を<FLコントルクス>から離してください。
- ⑤ ご使用中にフラッシュプレートがあなたがかくなったり、小さな音が出る場合がありますが、異常ではありません。
- ⑥ フラッシュプレートが汚れたときは、柔らかい布かぬるま湯を浸した布をよくしぼってからふいてください。フラッシュプレートをいためますので、ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどの薬品でふかないでください。

●修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買い上げの販売店(工事店)またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝家庭電器サービスデスクにご相談ください。なお、ご相談されるときはD F-10162、D F-20162の形名をお忘れなくお知らせください。

●規格

形名	D F-10162	D F-20162
定格電圧	交流100V50Hz/60Hz	交流200V50Hz/60Hz
定格負荷容量	最大16Aまで	最大16Aまで
周囲温度	コントルクス0～35℃、ランプ付近15～35℃	
取付方法	標準1個用スイッチボックスに露出取り付け	
適合蛍光ランプ (使用可能灯数)	FLR20×(4～47) (1灯用FDH-20111A/B)	_____
適合安定器 (適合安定器)	FLR40/MA×(4～28) (1灯用FDH-40115A/B)	FLR40/MA×(8～56) (1灯用FDH-40215A/B)
	FLR110H/A×(2～10) (1灯用FDH-110111A/B)	FLR110H/A×(4～20) (1灯用FDH-110211A/B)
	_____	_____

(注) 適合安定器の形名末尾「A」は50Hz、「B」は60Hzを示します。



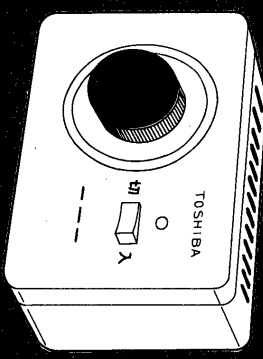
東芝電材株式会社 施設照明器具事業部

本社 〒105 東京都港区芳蒲1-1-43 東京 03(457)6079

あかるい明日を技術でひらく

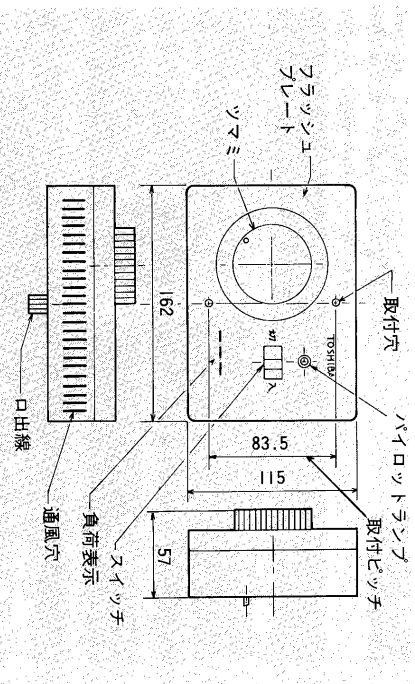
東芝 <FLコントルクス> 取扱説明書

DF-10162
DF-20162



このたびは東芝蛍光灯調光器〈FLコントルクス〉をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。ご使用の〈FLコントルクス〉を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

●各部のなまえと大きさ(mm)



●工事上の注意

- ①この調光器は蛍光灯専用です。白熱電球や水銀ランプなどには使用できません。適合蛍光灯は規格欄をご覧ください。
- ②照明器具に使用する安定器は高力率形調光用安定器をご使用ください。
- ③工事および保守点検のときは必ず元の電源をお切りください。
- ④負荷側（桃と白、青と白）を短絡すると故障しますから、絶対におやめください。またフレイカなどのトリップラスタのため、負荷側を短絡することもおやめください。
- ⑤本体上下面の通風孔は必ず露出し、通風効果を妨げないでくだ

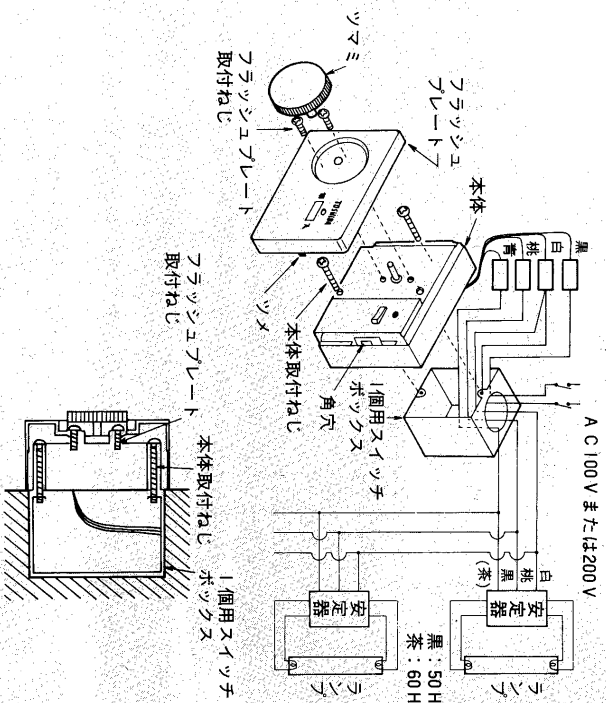
さい。温度が上り故障の原因となります。

- ⑥2台以上並べて設置する場合は、故障を防ぐためにつぎのように設置してください。
- 上下に設置する場合は、10cm以上離し、容量を3/4以下にしてご使用ください。
- 左右に設置する場合は、3cm以上離し、この場合は定格容量でご使用になれます。
- ⑦フラッシュプレートの取り付けには必ず使用されていたねじをお使いください。長すぎるとコントルクスの内部を破損し、故障のもとになります。
- ⑧安定器とランプを離して設置する場合は、当社にご相談ください。

●取り付けかた

- ①〈FLコントルクス〉のツマミをひっぱってはずしてください。
- ②ツマミの下の2本のねじをゆるめて、フラッシュプレートをはずします。
- ③〈FLコントルクス〉を接続する前に、負荷の対地メーターテストを行ってください。
- ④口出線は4本出ています。誤配線のないように、結線図にしたがって確実に、はんだ付けか圧着スリーブで接続してください。結線後は絶縁テープなどで絶縁してください。なお、白線は共通線ですから電源の一方（一線接地の場合は接地側）と安定器の口出線をいっしょに接続します。
- またDF-20162の場合はアース線も必ず接続してください。
- ⑤付属の本体取付ねじを使用し、本体を1個用スイッチボックスに取り付けます。
- ⑥フラッシュプレートの右側のツマミを本体の角穴にひっかけから、フラッシュプレートを取付ねじでもとどりに固定します。
- ⑦ツマミをもとどりに差しこみます。

取付工事の分解図



●使いかた

- ①負荷の種類、容量などをもう一度確認してください。
- ②フラッシュプレート面のスイッチを「切」にしておきます。
- ③電源を投入してください。このときパイロットランプが点灯します。パイロットランプが点灯します。このときパイロットランプは消灯します。